



2023. 3. 17 撮影

コミュニティ・スクール川上 つうしん

つなごう！つなごろう！
ふるさと蒜山に誇りをもち 未来の創り手となる 心豊かな子どもの育成

蒜山地区学校運営協議会連絡会ならびに 蒜山地域学校協働活動推進員会連絡会を開催しました



2月20日に、蒜山中学校にて、標記の会が開催されました。

各学校の学校運営協議会の会長と、地域学校協働本部のコーディネーターが一堂に会し、学校ごとの取組を紹介し合ったり、今後の運営の在り方などを話し合ったりしました。

来年度からは勝山高校蒜山校地もコミュニティ・スクールになるということで、学校と地域の連携が進みそうです。

川上小学校からは、「令和6年度全国へき地教育研究大会岡山県大会」の分科会開催研究指定校を引き受けていることをお伝えし、地域学習や体験学習への協力だけでなく、運営面での協力もお願いしました。参加者の皆さんが快く引き受けてくださったので、大変心強くなりました。

学校評価委員の方々に、令和5年度の学校評価をしていただきました。

	ABCD	具体的評価・今後に向けて
やさしく	A	<ul style="list-style-type: none"> 下校中の児童の様子を見てみると、困っている子にやさしく接する児童がいる。低学年への関わりも、微笑ましくなるような場面をよく見る。 子ども同士がお互いを気遣いながら生活できているように感じる。また、何かあったときにはすぐに行動に移せる素直さもある。 メディアは家庭の問題でもある。継続して大人も学んでいくべき。こちらが想像しているよりもネットの世界ははるかに児童に近い。ネットモラル研修や親子学習会など、今後も続けていく必要がある。 大人はほめたつもりでもほめられたと感じていない児童がいるのもっともっと大げさに何が良かったか伝えていくといいのではと思う。
かしこく	B	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容が身につけていないと感じている保護者が増えるのは、「子どもの学力や学習に関心をもっていることの現れ」ともいえるので、あながち悪いこととは言えない。 うち読カードのチェックはもう少し上がっても良いと思う。一緒に本を読んだり読み聞かせをしたりすることはとても良いことなので、PTAでもう少し呼びかけてみてはどうか。 授業は教員の本分なので、しっかり授業研究してほしい。
たくましく	A	<ul style="list-style-type: none"> 「学校は楽しい」は、評価が難しい。楽しい日もあれば、楽しくない日もあっていい。 児童の言葉遣いが気になる「場面にあった適切な言葉遣い」をすることで、敬意や感謝や誠実さ、熱意や優しさなど表現できる。あらゆる場面に通じる。粘り強さやたくましさなども、一つ一ついい言葉にして表現し合うことで、「やさしく かしこく たくましく」を網羅できるのでは。

ありがとうございました。「ていねいな言葉づかい」を職員も肝に銘じて取り組みます。

お問い合わせは 電話 0867-66-7045 (担当：教頭)
真庭市立川上小学校 メール kawakami_es@maniwa.gse.okayama-c.ed.jp